

## 1. <施策の概要>

基本理念	住民主体による計画的な行財政運営のまちづくり	統括課	議会事務局
基本方針	議会運営		
施策名	議会運営	関連課	
方針・目標等	◆地方主権時代にふさわしい議会づくり。 ◆議員活動の活性化。		
実施内容	◆議員の管外研修。 ◆議会だよりの発行。 ◆議会事務局運営経費。		

## 2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績/年度				
①	○ 議事録公表までの準備日数	日	本津川市 60	23	定例会ごとの平均			
②	議会だより発行部数	冊	本津川市 27,600	23	全世帯数			
③	議員研修回数	回	本津川市 5	23	常任委員会別の合計実施回数			
④	議会ホームページアクセス件数	件			庁外アクセス			
⑤								
			H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(試算)	H25(試算)
①	目標		60	60	60	60	60	60
	実績		120	55	51	37		
②	目標		13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
	実績		13,000	13,000	13,000	13,000		
③	目標		6	6	6	6	6	6
	実績		6	6	8	7		
④	目標		20,000	25,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	実績		21,739	26,196	20,806	23,593		
⑤	目標							
	実績							

### 3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・議事録公表までの準備日数は平成20年度で大きく遅れたが、21・22年度においては目標内の公表を達成することができ、23年度では目標を大きく上回った。各種委員会の会議録校正量にも左右されるが、目標内公表の維持が課題である。・議会の活動状況を住民に周知するうえで、議会だよりは必要不可欠であり、見やすくするなどの充実が課題である。・議員の自己研鑽並びに所管委員会等の審議に資する上で、少なくとも1委員会で年間1回は必要である。・ホームページの充実として、議員の住所、連絡先、又政務調査費使途別一覧の掲載など改善を行った。今後、議会中継とあわせて内容の充実と強化が必要である。

### 3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・議事録公表までの日数安定化やホームページ、議会中継への対応など、事務局体制(人員増等)の充実が課題である。  
 ・議会だよりは、より見やすく、親しまれる議会広報誌として、文字を大きく、写真を多く、カラー化すること等でニーズにこたえられるが、経費との兼ね合いが課題である。  
 ・議員研修は、住民ニーズに応える見識や知識を身に付けるために必要である。  
 ・ホームページは、議会情報の発信においてさらなる多種・多様化、情報量の拡充が必要である。

4-1. <施策を構成する事業>

重点	部門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
		H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(予算)	H25(試算)
1	○ 議会事務局	-	105,186	103,091	157,345	140,304	140,304
	議会運営活動費	100,031	93,088	91,125	145,634	128,593	128,593
	一般事業 59	-	93,088	91,125	145,634	128,593	128,593
2	議会事務局	-	18,538	18,977	18,329	19,117	19,417
	議会事務局運営費	5,061	6,268	6,392	6,168	6,956	7,256
	一般事業 61	-	6,267	6,361	6,110	6,956	7,256
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・議会だよりを年4回発行することができた。 ・各常任委員会等において目的の研修を実施することができた。 ・インターネットによる本会議のライブ中継に続き、平成23年6月第2回定例会の録画中継を11月より開始した。 ・議会事務局の重要任務の一つである会議録作成のほか、議会運営や議員活動の補助といった事務局運営に係る事業を実施した。  
 <定例会・委員会等の開催状況=会議録作成状況(20年度:延79回154時間、21年度:延89回215時間、22年度:延127回272時間、23年度:延100回198時間)>

5. <施策の今後の方向性>

・議会基本条例に基づき、今後、より一層議員活動を活性化し、議会活動の住民周知をさらに進めていく上で、インターネット等を利用した議会中継(ライブ、録画)の内容充実(ライブでのテロップ挿入や休憩時間表示等)、議会だよりのカラー化が課題である。  
 ・また、議会ホームページについても、より充実した内容となるよう取り組みが必要であり、議会活動のさらなる活性化とともに、それに見合う事務局体制の充実が課題である。